

千葉公園で巨樹さがし



巨樹ってなあに？

環境省での調査では、地上から1.3mの地点での幹周*が3m以上のものを対象としています。 ※幹を一回りしたときの長さ

直径にすると1m近くなければいけませんから、かなりの大きさです。公園の樹を実際に計測してみると、この大きさのものは少なく、ある程度大きな公園に行かないと見つかりません。



さっそく探索開始。

千葉公園は、昭和34年に都市公園として開設されてから半世紀。見るからに大きな樹木が多く、これは期待できます。

まずは、JR千葉駅北口からの入口（南門）から見てみましょう。



公園西側の住宅地沿い。うっそうとした斜面地で、目立ちませんが、大木がゴロゴロ。巨樹と呼べるのがたくさんあります。



綿打池をモノレール沿いに歩いていくと、プラタナスの大木がっ！ここまで大きいのはなかなかありませんねえ。幹周約3.4m。



いきなり大物発見！ポート乗場近くのヒマラヤスギは見るからにデカイ！でも、便所そばのクスノキもそれより大きいような・・・。



護国神社わきのケヤキ並木。ケヤキ特有の樹形がすてきなところですが意外にも幹は太くないようです・・・。



花壇コーナーのイチョウの大木。11月末から黄色にそまる景観は見事。幹も3mを超えて貴祿を見せました。



モノレール千葉公園駅前のヒマラヤスギ。車窓からも見えるランドマークで、幹周は約3.1m。

これにて探索終了！

千葉公園をよくみて一周するのも時間がかかります…。 さて、園内で一番大きい(=幹が太い)巨樹はどれだったのかなぁ？

①

高さだったら
自信あります！



ヒマラヤスギ
ポート乗場近くやモノレール駅階段そばの木は、高さもあるランダムーク。

②

紅葉の時期は
ワタシが人気！



イチョウ
花壇コーナーにあるイチョウの大木は、秋に多くの方が写真を撮りにきます。堂々たる樹形はさすがです。

③

華やかさは
ないんですけど…



クスノキ
モノレール近くや住宅地側斜面に多く見られます。園内の落ち着いた景観づくりの立役者。



答え.

③のクスノキです。

(幹周はH21年12月中央・稲毛公園緑地事務所による調査です)

幹周が4mを超えるクスノキは、南門よりの便所近くや住宅地側の樹林地にあります。また、園内で3mを超えた本数が一番多かったのもクスノキ(10本以上!!)で、環境省の全国調査でも上位に多くみられるなど、さすがの結果といえます。

なお、巨樹といっても、全国調査では特別天然記念物に指定されているもので幹周が20mを超えるものもあるようで(樹齢数百年)、スケールの大きさを感じますね。

調査結果～

千葉公園ベスト3

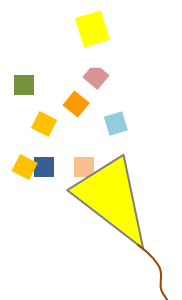
- | | | |
|---|--------------|------|
| 1 | クスノキ(西側斜面地) | 4.5m |
| 2 | クスノキ(南門便所付近) | 4.4m |
| 3 | クスノキ(西側斜面地) | 4.0m |

特別賞 プラタナス(綿打池沿い) 3.4m

功労賞 イチョウ(花壇コーナー) 3.3m



見事1位に輝いたクスノキ。
おめでとうございます。
散歩ついでに、どうぞ。



身近な公園に巨樹がたくさんあるということは、
長い年月のあいだ、育つための環境が維持されてきたことの証です。千葉公園に感謝!!

